

絆

142号



前衆議院議員

桜田よしたか



日本！この国を強い国に！ ～国・地域・家族を守る～

ドジョウ首相にもの申す！――前途多難な野田新内閣

どうする？～マニフェスト見直し、大震災・原発対応、外交・安保

野田新内閣が2日、スタートしました。民主党政権誕生後、2年間で3つ目の内閣です。

野田佳彦氏は終戦時の鈴木貫太郎首相以降、戦後初の千葉県出身の総理大臣です。同県人としては「おめでとう」のメールを送りたいところですが、新内閣の顔ぶれからは何をやりたいのか、政策目標がはっきり見えてきません。

野田さんは“ドジョウ首相”とも呼ばれています。民主党代表選で自らをドジョウにたとえ、「ドジョウにはドジョウの持ち味がある。金魚のまねをしてもできない。泥臭く、国民のために汗をかいて働いて、政治を前進させる」と演説したのがきっかけでした。

「飾らない人柄」をアピールしたかったのでしょうか、スタートした新内閣の性格はヌルヌルとつかみどころがありません。党内バランスを優先した「民主党型派閥均衡内閣」とでも言いましょうか。小沢元代表に気兼ねしないで、国民に向けてもっと強く野田カラーを打ち出すべきでした。

それでも内閣支持率はアップしました。読売新聞の世論調査では65%（新内閣発足直後としては歴代5位）、朝日新聞では53%となっています。

意外に高い支持率は何を意味しているのでしょうか？

まず考えられるのが新内閣への“ご祝儀相場”。新しい内閣が生まれると、期待感から一時的に支持率が上がるのが普通です。しかし、熱はすぐに冷えてしまいます。鳩山内閣（発足時75%）も菅内閣（同64%）もあつという間に急落し、1年前後で退陣に追い込まれました。

「支持する理由」は、読売調査で「これまでの内閣よりよい」が48%で最も多く、「首相が信頼できる」17%、「政策に期待できる」は12%にすぎませんでした。

つまり、菅さん、鳩山さんがあまりにもひどすぎた・・・“あの2人よりはマシ”という消極的理由で野田さんを支持しただけなのです。

新内閣には前政権がやり残した宿題が山のようにたまっています。東日本大震災からの復興、福島原発事故への対応、財政再建、円高対策、税と社会保障の一体改革、外交の立て直し…日本が直面する課題に具体的な処方箋を示し、泥をかぶる覚悟で取り組まなかったら、野田新首相も前の2人と同じ運命をたどるのは明らかです。

マニフェスト見直しは実現するのか～首相は3党合意を守れ

新首相への注文は数々ありますが、まず私は完全破綻したマニフェストの見直しにどうケジメをつけるか、しっかりと見守りたい。

民主党と自民、公明の3党は先月、バラマキ4Kなど民主党が2009年衆院選で掲げた選挙公約（マニフェスト）見直しを前提に与野党が協力することで合意しました。

3党合意の内容をおさらいしてみましょう。

- ・ 高速道路無料化は 2012 年度予算概算要求に計上しない
- ・ 高校無償化と農業戸別所得補償は、12 年度以降の制度の見直しを検討
- ・ 子ども手当などの見直しによる歳出削減分は 2011 年度第 3 次補正予算で減額措置する
- ・ 復興費の償還財源や償還ルールを 3 次補正予算編成までに各党で検討する

野田氏は組閣前の 3 党首会談で「私が約束したことだから、ぜひ信頼してください」と合意の履行を確約しました。

しかし、新内閣の布陣を見ると、3 党合意を本当に実行できるのか疑問です。約束を守るのか守らないのか、野田首相の胸の内は泥の中のドジョウのようにぼんやりしています。

民主党内では、小沢グループを中心にマニフェスト見直しに強い反対論があります。新任の輿石幹事長は小沢元代表に近い上、教員出身ということもあって高校無償化の存続を求めています。彼は「教室に中立はあり得ない」と何度も主張している日教出身議員としての立場を大切に何度も主張しております。

あちらを立てればこちらが立たず——野田首相は与野党の協調路線で「ねじれ国会」を乗り切る作戦のようですが、ノーサイドになったはずの足元から異論が噴き出して立ち往生、といった事態は十分に予想されます。

ドジョウは川や池などの汚れには強くても、海水が流れ込んだりするとすぐにへたばってしまうと言います。ドジョウを食べるには真水の水槽に一週間程度飼って、十分に泥を吐かせてからなければ食べられません。マニフェスト順守派という塩辛い水の浸透をどう防ぐのか、これが新内閣の試金石です。骨抜きドジョウはご免です。

大震災から早や半年、被災地はもう待てない～迅速対応を！

野田新政権には待ったなしの課題が山のように待ち受けています。

最優先事項は大震災の復旧・復興と福島原発事故への対応です。

今後 5 年間に見込まれる復興対策費用は 13 兆円。さらに B 型肝炎訴訟の和解金と 1 次補正で流用した基礎年金の国庫負担の穴埋め分を含めると 16 兆円以上の財源が必要です。

バラマキ 4K でふくらんだ予算の無駄をはぶき、本格的な復興策を盛り込んだ第 3 次

補正予算を一日も早く成立させ、“カネと人の手当”を急がねばなりません。被災地のイラダチと我慢は限界にきています。私は大震災の後、5 回にわたって東北の被災地に行きましたが、政府の対応は遅すぎます。

先日訪れた岩手県陸前高田市でも道路の脇はガレキの山。津波が破壊した防潮堤や防波堤は土のうを積んで応急手当をただけ。「また津波が来たらどうなるのだろう」。考えるだけでゾッとします。

解決の手段は分かっている。しかし、カネがない。人手が足りない…これが被災自治体の叫びです。

〈主な政治日程〉

9 月 2 日	野田新内閣発足
// 13 日	臨時国会召集。 所信表明演説。代表質問
// 中・下旬	3 次補正与野党協議入り。 2012 年度予算案の概算 要求締め切り。 日米首脳会談
10 月 上・中旬?	3 次補正予算を審議する 臨時国会召集?
// 中旬?	3 次補正予算、復興増税 法案を国会提出?
?	3 次補正予算、復興増税 法案が成立

復旧・復興に汗を流すのは市町村の仕事ですが、地方自治体には限界があります。国が大方針と目標を明示し、必要な財政支援をしなければ被災地は立ち直れません。野田首相は「現地の悲鳴」にしっかりと耳を傾けるべきです。

3次補正が成立したら、次に議論するのは**放射能汚染対策**です。まず福島県内の**放射性ガレキ・汚泥の処理と被災者の早期帰宅の実現**。原発周辺自治体に行くと「政府の対応はいつも後手後手で、場当たりの」という不満をよく聞きます。3.11からもう半年たちました。いつまでもモタモタしていたら、東北人の怒りが爆発するでしょう。身近なところでは、私の地元でも放射能汚染が問題になっています。我孫子、柏、流山は“ホット・スポット”として全国的に有名になりました。まったく迷惑な話です。これでは安心して子どもたちを外で遊ばせることもできません。

東葛地区では公園や校庭のほか、手賀沼や大堀川にも汚染水が流れ込んだ可能性があります。市の担当者は「測定や除染について各方面から売り込みがきているが、予算の裏づけがないので手をつけられない」と嘆いていました。政府が大方針を示さなければ、市町村は目標を立てられないのです。野田首相には**スピード感あふれる対応**を求めます。

心もとない外交と安全保障。外国にはワキが甘い民主党

2年間の民主党政権がもたらした「外交空白」は深刻です。

鳩山元首相は米軍普天間基地移設問題をめぐる迷走で日米同盟を深く傷つけ、菅前首相も尖閣諸島沖の**中国漁船衝突事件**や**北方領土問題の対応ミス**で国益を損ないました。

野田首相は、オバマ米大統領との電話会談で「日米同盟が日本外交の基軸」であることを確認しました。ここまでは当然ですし、評価できます。

しかし、新内閣の顔ぶれをみると心配になります。玄葉光一郎外相、一川保夫防衛相は外交・防衛に本格的に関わるのは初めて。安住淳財務相も国会対策一筋の人だったはずです。

玄葉外相は就任会見で「外務副大臣もしたことがない」と語り、一川氏は「私は安全保障の素人」と発言しました。こんなレベルの人たちに「国の大事」を任せておいて大丈夫でしょうか。

首相自身にも懸念材料がいくつか浮上しました。

一つはA級戦犯をめぐる過去の発言です。野田氏が2005年に政府に提出した**質問主意書**の中で「すべての『戦犯』の名誉は回復されている。『A級戦犯』と呼ばれた人たちは戦争犯罪人ではない」との見解を表明したことに中国、韓国が神経をとがらせているというのです。私は野田氏の**歴史認識は真っ当だと思っています**。もし中国や韓国が問題視したら、内閣として日本の考え方をキチンと主張すればいいのです。ここで弱腰になったら菅政権の二の舞になると覚悟すべきでしょう。

もう一つの問題は見過ごすわけにはいきません。野田首相の資金管理団体が在日韓国人2人から計31万円余りの個人献金を受けていたことが明らかになりました。外国人による献金は政治資金規正法で禁じられています。このケースは公訴時効（3年）を過ぎていますが、首相としての説明責任は免れません。

在日外国人による献金問題では前原元外相が今年3月に辞任、菅前首相の資金管理団体も献金を受けていました。そろいもそろって民主党の国会議員はどうしてワキが甘いのか。「外国人とは知らなかった」で済む話ではありません。さらに、インターネットのユー・チューブでは「**韓国民団の選挙協力に感謝する民主党野田佳彦議員（2009年）**」のタイトルが付いた映像が流れています。そもそも外国人の選挙支援は違法なはず。



2009年10月11日 千葉市中央公園での在日韓国民団の集会で、選挙協力の謝辞を述べる野田議員

【引用元アドレス】

http://www.youtube.com/watch?v=3k79ozsd_-8

外国勢力による政治浸透の危険をどう考えているのか、野田氏の考えをただしたいところです。このままでは「外国人参政権付与問題と絡ん何かあったのではないかと」勘ぐられても仕方ないでしょう。

今こそ解散・総選挙を！政権の正統性を問うべし！

わたしたち自民党は与野党の枠を越え震災復興には協力します。しかし、3次補正予算までの話です。3次補正が成立したら衆議院を解散して国民に信を問いただすべきだ—私はこのように考えています。

民主党は野党時代、首相交代を繰り返す自民党政権を厳しく批判してきました。「選挙で国民の審判を受けていない政権は正統性に欠ける」という理屈です。野田氏はその急先鋒でした。

だとするならば、野田首相は震災復興を盛り込んだ3次補正が成立し、来年度予算案を作成した段階で、年内にも「国民の信を問う」のが筋というものです。

野田首相は就任会見で「震災復興と円高対策があるので、政治空白を作れる状況ではない」と衆院解散に否定的な考えを示しました。

「非常事態だから総選挙はできない」と言うのなら、鳩山⇒菅の首相交代の時はどうだったのか。政治空白を作れないほどの非常時だったのでしょ。何しろ2年間で3人目の総理大臣誕生です。しかも2009年総選挙の約束＝マニフェストは完全に破綻しています。

さらには、野田内閣の経済産業大臣として入閣した鉢呂吉雄大臣は、福島県の東京電力福島第一原子力発電所の周辺市町村について、「市街地は人っ子一人いない、まさに死の街という形だった」と福島県民の心情を踏みにじる発言をし、さらには非公式の取材の場で着ていた防災服の袖を新聞社の記者に擦りつけ「放射能をつけたぞ」という趣旨の発言をするなど、大臣としてあるまじき見識の低さを露呈した後、就任から僅か9日間で辞任に追い込まれました。

その後、12日に就任した枝野幸男大臣は、菅内閣での稚拙な原発対応で放射線被害を拡大させた張本人です。そのような人物を再度重要閣僚として入閣されなければならない事実は、民主党には政権を担えるだけの人物が枯渇していること、すなわち政権政党としての体をなしていない証左であります。

この時に総選挙をやらないでいつやるのか—野田新首相は「言行一致」という言葉をしっかり噛みしめてほしいと思います。



ワッショイ！ワッショイ！

2012年9月10日に開催されました、「第4回ふるさと田中まつり」に大変多くの皆様にご参加・ご協力をいただき誠にありがとうございました。

今年は、東北の復興を祈念すべく東北物産展の開催や自衛隊の活動状況を展示させていただきました。物産展に参加されていた被災者の方が、柏の皆様の温かいご声援とご協力に感激されておりました。

桜田義孝事務所

〒277-0814 柏市正連寺 374 TEL:04-7132-0881 FAX:04-7132-6456

ホームページ <http://www.sakurada-yoshitaka.com/>

メールアドレス web@sakurada-yoshitaka.com

Twitter (ツイッター) <http://twitter.com/ysakurada>